

学校法人 加計学園

平成19年度事業報告

【 岡山理科大学附属中学校 】

I. 事業の概要（全般）

開校6年目を迎えて、第6期生35名が入学しました。入学者が伸び悩み傾向にあることから、これに歯止めをかけ、増加させるために、

- 1) 対策ワーキンググループを編成し、入試広報活動を計画的に進めました。
- 2) 大学進学実績がない現在、全国模試や各種検定試験指導に力を入れ、実績を広報に活用しました。
- 3) 課外活動（部活動・委員会活動）について、女子ソフトテニス部を発足させることとなり、広報活動を強化しました。

その結果、志願者数198名と前年度と比較して約2割の増加を達成しました。入学者数についても、61名と7割以上増加しました。しかしながら、依然として、入学定員80名に対して入学者数が定員割れの状況にあるのが現状であります。

そのほか、第4期生23名が義務教育課程を修了し、うち13名がそのまま中高六年一貫コースの高校に、1名が附属高校普通コースに進学が決定しました。

II. 学校の概要

1. 生徒の定員現員数

（平成19年5月1日現在）

	定員数		現員数			
	入学定員	収容定員	1年	2年	3年	合計
岡山理科大学附属中学校	80	240	35	32	23	90

（単位：人）

2. 学年暦

	学年始休業	入学式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	修了式
岡山理科大学附属中学校	4月1日 ～ 4月7日	4月9日	7月20日 ～ 8月31日	12月25日 ～ 1月7日	3月21日 ～ 3月31日	3月17日

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育活動の進捗状況

中高六年一貫コースの目標として、全国難関大学や医歯薬学系大学への進学を目指していますので、六年の課程を前倒しで進めるとともに、全国模試や各種検定試験指導を強化しました。全国模試や各種検定とともに、一学年上のレベルに挑戦させ良い実績を得ました。数学検定では、中学3年生のうち3人が準2級（高校中級レベル）に合格しました。同様に、英語検定では2年生2人と3年生2人が準2級、漢字検定では3人が2級、9人が準2級に合格しました。

6月に3年生がオーストラリアに海外研修旅行に行き、ファームステイも体験して文化の違い等を学んで帰国しました。また、1年生は玉野総合医療専門学校で介護体験実習を、2年生は倉敷芸術科学大学で陶芸、ガラス工芸実習を行いました。

部活動においても、スキー部が、全国大会出場を果たしています。また、ノートルダム杯レシテーションコンテスト（暗唱コンテスト）でも準優勝、ライシャワー杯英語スピーチコンテスト（暗唱の部）で優勝、総合でも準優勝しました。数学検定については、3年生が文部科学大臣賞を受賞しました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成19年5月1日現在)

	入学者		
		留学生	社会人
岡山理科大学附属中学校	35	0	0

(単位：人)

卒業者数等一覧

	卒業 者 ・ 修了 者	退 学 者	除 籍 者	休 学 者	留 年 者
岡山理科大学附属中学校	23	0	0	0	0

(単位：人)

2. 生徒の募集・広報

岡山市、倉敷市、赤磐市、備前市、神戸市、加古川市、姫路市、相生市を中心に塾訪問及び小学校訪問を行いました。7月、8月、9月、10月、11月、12月にそれぞれオープンスクール及び入試説明会を行いました。8月に塾対象で理科実験教室を理科室にて4回行いました。

(約120名)

3. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	18年度決算額	19年度決算額
学納金収入	48,373	51,777
補助金収入	48,485	49,339
その他収入	2,326	2,788
帰属収入合計	99,184	103,904
基本金組入額合計	△ 754	△ 182
消費収入の部合計	98,430	103,722
人件費	128,673	170,112
教育研究経費	30,185	30,687
管理経費	11,849	12,571
その他支出	0	0
消費支出の部合計	170,707	213,370

○収支改善対策の具体的取組と効果

来年度以降も、志願者数、入学者数の確保が急務となっております。広報活動の強化により、過去最高の志願者数、入学者数を確保しましたが、定員割れの状況には変わりはなく、定員を充足させることが最低限の目標となります。

人件費の伸びを抑えながら経費の削減にも努めましたが、入学者数が定員を下回っているため、より一層の入学者の確保に努めます。